

# とりまとめ(案)概略版

平成22年8月5日

国土交通省 観光庁

## 第1回(平成22年1月14日)「各府省の取組の報告」

## 第2回(平成22年2月16日)「スポーツ観光」

・有識者ヒアリング

【スポーツ観光】川淵 三郎氏 (財)日本サッカー協会名誉会長

加藤 誠氏 (株)ジェイティービー旅行マーケティング戦略部 部長

・スポーツ観光に関する連携方策について意見交換

## 第3回(平成22年3月30日)「文化観光、医療観光」

・有識者ヒアリング

【文化観光】平田 オリザ氏 劇作家・演出家、内閣官房参与

李 鳳宇氏 映画プロデューサー

【医療観光】開原 成允氏 国際医療福祉大学副学長・大学院長

・文化観光及び医療観光に関する連携方策について意見交換

## 第4回(平成22年4月21日)「グリーン・ツーリズム、エコツーリズム」

・有識者ヒアリング

【グリーン・ツーリズム】

大江 靖雄氏 千葉大学大学院園芸学研究科教授

小林 美佐子氏 越後田舎体験推進協議会事務局長

【エコツーリズム】

大野 睦氏 有限会社ネイティブビジョン代表取締役

・グリーン・ツーリズム、エコツーリズムに関する連携方策について意見交換

## 第5回(平成22年5月20日)「産業観光、ユニバーサル観光、観光地域づくり」

・有識者ヒアリング

【産業観光】須田 寛氏 東海旅客鉄道株式会社 相談役

【ユニバーサル観光】

松田 壽美子氏 特定非営利活動法人 J.POSH 副理事長・事務局長

【観光地域づくり】

大社 充氏 特定非営利活動法人 グローバルキャンパス 理事長

・産業観光、ユニバーサル観光、観光地域づくりに関する連携方策について意見交換

## 第6回(平成22年8月5日)「今後の各府省連携のあり方」

エコツーリズム、グリーン・ツーリズム、産業観光等のニューツーリズムについては、これまでも関係府省が連携して推進してきたところであるが、今後は、以下の取組を推進することにより、更なる振興を図る。

## エコツーリズム

- 自然観光資源の利用マナー向上、エコツアーの質の向上  
⇒ ツアーガイド等人材育成支援  
・アドバイザーによる地域の活動支援、啓発活動推進  
【内閣府・観光庁・環境省】
- 商品の市場流通支援  
⇒ 観光地域づくりプラットフォームの形成  
【観光庁】
- グリーン・ツーリズムとの連携強化  
⇒ エコツアーのプログラム作りやガイド育成を支援【農林水産省・環境省】等

## グリーン・ツーリズム

- 「グリーン・ツーリズム推進連絡会議」による取組の深化  
⇒ 体制整備や商品開発に係るモデル事業の実施【農林水産省・観光庁】
- 商品の市場流通支援  
⇒ 観光地域づくりプラットフォームの形成  
【農林水産省・観光庁】

## 産業観光

- 各種事例のデータベース化、ツアー情報の積極発信【経済産業省・観光庁】
- 商品の市場流通支援  
⇒ 観光地域づくりプラットフォームの形成  
【経済産業省・観光庁】

## 外国人向けニューツーリズムの推進

訪日外国人のニューツーリズムを進めるにあたってのニーズ等の把握【農林水産省・観光庁】

# 文化＋観光 に関する関係省庁連携について

日本には、「長い歴史に根ざした伝統文化」や「世界に誇る現代文化」など多様な文化資源が存在  
 → 各省連携により、「強力に世界に発信」するとともに、「訪日外国人の受入環境の整備」を図り、インバウンド増加を目指す

	強力な情報発信	受入環境整備
文化施設、文化財 (博物館、美術館、劇場、文化財等)	○芸術文化を発信する企画展の積極開催 ○収蔵品情報、展覧会情報の積極発信 等	○収蔵品や建造物等の公開・活用の推進 ○多言語化推進、海外でのチケット予約推進 等
スクリーンツーリズム (映画・映像)	○誘客効果の高い作品の積極活用 ○地域の映像番組を海外で積極的に放映 等	○製作者・撮影地双方を支援するマニュアル作成 ○海外映画等の国内ロケ支援 等
その他メディア芸術 (アニメ、ゲーム等)	○誘客効果の高いアニメ等の積極活用 ○メディア芸術祭、アニメフェアの積極活用 等	○メディア芸術を活用しようとする地域、 企業支援 等
食	○日本食の海外普及(「次の日本食」創出)と連 携した日本への旅行の提案 等	○店舗情報、メニューの多言語化 等
ファッション	○東アジア・欧米等をターゲットとした積極発信 等	○ファッションを活用しようとする地域、企業支援
くらしの文化	○衣食住に係る文化や茶道・華道等、 我が国のくらしに根ざした文化の積極発信 等	○実体験ができる取組の推進 等

各省イベント情報を共有、  
日本を効果的にPR

東京のコンテンツ・デザイン・ファッションの  
イベントを活用し  
世界のクリエイティブ・ハブに

沖縄固有の文化と観光を融合  
新しい魅力の創造

各省横断的な取組により、より多くの成功事例を創出

# スポーツ+観光 に関する関係省庁連携について

## 我が国の豊富なスポーツ資源

世界的にもハイレベルな“観るスポーツ”  
プロ野球、Jリーグ、ラグビー、バレーボール、プロゴルフ、  
大相撲、柔道 .etc

世代を超えて人気を集める“するスポーツ”  
マラソン、ウォーキング、サイクリング、登山、スキー、  
ゴルフ、草野球 .etc

➡ 魅力あるスポーツ資源を最大限に活用し、**インバウンド拡大、国内観光振興、**  
そして**地域活性化の「起爆剤」**に！！

### 取り組み目標

- ◆我が国スポーツ資源の海外発信とアクセス向上
- ◆レジャースポーツ観光のアジア市場への販売促進
- ◆ワールドカップ・オリンピック等の国際競技大会や合宿・関係会議の日本誘致
- ◆スポーツ施設の魅力化
- ◆スポーツ観光まちづくり

### スポーツ・ツーリズム推進連絡会議

平成22年5月18日発足

- 【メンバー】  
関係省庁、プロスポーツ団体、スポーツ統括団体、スポーツ競技団体、観光団体、観光関係企業、スポーツ関係企業
- 【検討課題】
- (1) 国際スポーツ大会・合宿・会議の戦略的誘致のあり方
  - (2) スポーツの国際化と国際交流の推進方策
  - (3) スポーツ観戦・参加ツアー造成の推進方策
  - (4) 海外からのチケットの改善方策
  - (5) スポーツ施設の観光魅力化に向けた改善方策
  - (6) スポーツを核としたまちづくりの推進方策
  - (7) スポーツ・ツーリズムの推進組織のあり方

### <当面>

スピード感をもった検討と実証実験の実施

中間的とりまとめ策定と予算要求等への対応

組織の枠組みを超えたスポーツ・ツーリズムに対する気運の醸成

### スポーツ観光WEBサイトによる情報発信

各スポーツ競技団体HPとの相互乗り入れでスポーツ情報、周辺地域の観光情報等の提供を行う。

### スポーツ競技団体との連携

スポーツを観光情報発信のコンテンツとして活用すると共に、大会等への支援も通してスポーツ振興にも寄与し、相互の発展を促す。



## 背景

医療情報のグローバル化や国際認証の普及等により、医療の国際化が進展している。このような状況を踏まえ、アジア等で急増する医療ニーズに対し、最先端の機器による診断やがん・心疾患等の治療、滞在型の慢性疾患管理など日本の医療の強みを提供しながら、国際交流と更なる高度化につなげること(国際医療交流)が、6月18日に閣議決定された新成長戦略の中にも取り上げられたところである。

このような中で、海外の患者やその同行者が健診・治療等を受ける目的で訪日渡航を行い、併せて国内観光を行う、新しい形態の観光(医療観光)への需要が高まり、国際交流や国際貢献、更には地域経済の活性化にも資することが期待されている。

## 連携案(厚生労働省、経済産業省、観光庁等)

新成長戦略に沿い、関係省庁の緊密な連携の下、以下のような取り組みを実行していく。

### ①海外プロモーション

日本政府観光局(JNTO)、旅行会社等が一体となったオールジャパンでの海外プロモーション体制を構築し、主にアジア富裕層等を対象とする海外プロモーションを通じ、日本の医療観光に関する認知度の向上及び潜在需要の掘り起こしを行う。

### ②外国人患者等の渡航・受入環境整備

外国人患者等が円滑・快適に訪日渡航し、言語や慣習の異なる日本の医療機関で安心して健診・治療等を受けられるよう環境整備を推進する。また、海外の医療保険を国内の医療機関でも利用できる仕組みを検討する。

### ③旅行商品の多様化・高付加価値化

地方自治体、旅行会社等との連携により、地域の特色を活かした高付加価値かつ魅力度の高い周辺観光プランを付加するなど、訪日する外国人の診療目的や同行者等のニーズを考慮した多様な旅行商品の開発・提供を促進する。

### ④受入支援事業者の育成と品質確保

我が国医療機関が医療サービスの提供に専念できるよう、外国人患者の受け入れを支援する事業者を育成し、円滑なビジネス環境の構築を支援する。

### ⑤医療言語人材の育成・ネットワーク構築支援

医療の国際化を進める上で不可欠な医療言語人材(翻訳事業者・通訳事業者)の確保・育成を図り、医療機関等とのネットワーク構築を支援する。

### ⑥医療機関のネットワーク化

医療の国際化に意欲的に取り組む医療機関によるネットワーク化を進め、外国人患者の受け入れのための連携を図り、多様な顧客ニーズへの対応力を高める。

### ⑦受入医療機関の質の確保

外国人受入のための健診機関・医療機関の質の確保を目的として、認証制度の仕組みを検討しつつ、既存の認証規格との連携についても検討する。

### ⑧魅力ある医療技術の可視化

先進的な医療施設等と協力しながら、海外にアピールできる魅力的な医療技術を調査する。

## 観光情報発信・啓発

### ○訪日動機を喚起する情報発信コンテンツの充実

各省の協力を得て、各種観光コンテンツを整理し、観光庁や日本政府観光局(JNTO)のホームページを通じて強力に海外発信 [観光庁]

### ○国内旅行喚起のための取組

- ①ニューツーリズムなど新しい旅のあり方を国民に呼びかけ [観光庁]
- ②着地型旅行情報へのアクセスの改善

## 人材育成、観光地域づくりプラットフォームの形成支援

観光産業だけにとどまらず、農林水産業、地場産業、流通加工業などの従事者や行政、NPOなど、地域に係る関係者が広く参加した中間支援組織もしくは事業主体(観光地域づくりプラットフォーム)を設け、地域全体が自立し、持続的に成長発展していけるよう、地域資源を活用したサービスや商品を新たに生み出し、地域の外に向かってそれらを販売していくことが重要。

また、この場を有効に機能させるためには、計画作りや総合調整を担う中核人材の育成が極めて重要。

## 支援策

### ①成功事例の収集・公表

千葉県南房総市「株式会社とみうら」、長野県飯田市「株式会社南信州観光公社」等、全国各地のプラットフォーム成功事例等を収集・公表

### ②先進的な取組の支援・検証

組織化や中核人材育成等に対する先進的な取組を支援、改善効果等を検証

### ③全国への展開

プラットフォームの形成を全国各地に展開するための方策の検討

### <支援体制の検討>

観光地域づくりに対する国のアドバイス機能を強化するため、政府レベルで関係各省間の情報を共有する仕組みを検討 [観光庁]

## ユニバーサル観光の推進

観光振興を図る上で、高齢者・障害者や乳幼児を抱える家族などが観光に参加しやすくなるような環境を整備することは重要な課題のひとつ。

## 連携策

- ・ユニバーサルデザインに配慮した旅行商品・旅行システムの開発等を推進 [観光庁]
- ・乳がん患者の方が専用の入浴着を利用して気兼ねなく温泉に入れるような観光地の拡大に向けて、民間団体の活動を支援 [総務省・厚生労働省・観光庁]

有数な歴史的文化財や貴重な自然環境等と  
観光の連携分野

国が率先してリーダーシップを  
取るべき分野



関係各省政務三役による  
検討深度化のための体制構築

その他の観光連携分野

各省局長クラスの幹事会による  
施策のフォローアップ